

(その3)

所 信 表 明 書

2023年 12月 8日

氏 名 鮫 島 浩

(所信)

私は、宮崎大学の理事・病院長として約5年半、引き続き学長として約2年2ヶ月を過ごしてきました。この間、大学内外で多くのことを経験しました。今回、学長期間中の中期計画の実施状況を自己評価し、それなりの実績を挙げることができたと考えています。これらを踏まえ、次期に向けての所信を以下に表明します。

宮崎大学の将来構想に関して

宮崎大学は、高度な教育の提供と新たな知の創出、さらに多様性のある人材を輩出することで、重点とする教育、研究、医療、地域貢献、国際貢献の分野を主導し、持続可能な地域共生に貢献するとともに国際共生社会の実現を目指します。予測困難な社会情勢の中にあっても、上記の5分野を中心に、大学の視点から時代の流れと社会の要請を可能な限り正確に見極め、柔軟かつ適切に対応し、地域と世界に発信したいと考えています。その実現に向けて宮崎大学は産官学金労との連携をより一層強固にすべく努力します。併せて、学生並びに若手教職員の育成と多様な人材の確保を推し進めるつもりです。

教育・研究・社会貢献・国際貢献に関して

教育・研究は大学の最も中核にあるものです。個々の教員の自由・自律の精神の下で教育・研究を活性化させることが重要ですが、その一方で教育・研究によって地域社会や国際社会に貢献することも大切です。またこれらを担う優秀で多様性のある若手人材を育成し、社会に輩出することも重要です。

教育では、今期中にSPARC事業、錦本町キャンパスなどが実施されるため、高等教育コンソーシアムや県教育委員会との連携を強固にしていきます。

研究に関しては、世界レベルの研究は勿論のこと、地域に根ざしたアイデアと視点を持って挑戦する研究も重要視していくつもりです。そのために先端研究推進本部を新設し、IRセンターを利活用し、ミッション実現戦略研究や地域中核研究などを推進します。

大学の国際化は教育、研究にも重要であり、今後の課題として重要視しています。機構化の

中で戦略的に取り組んで強固な体制を整備したいと思います。

このように教育・研究、社会貢献、国際貢献を介して地域社会に貢献する大学でありたいと強く思います。

大学運営に関して

宮崎大学は地域に貢献する大学として今後も発展し続ける必要があります。そのためには健全な財務運営が必須です。運営費交付金に加え、基金化された補正予算や他の競争的外部資金の獲得と、宮崎大学基金や産学共創会議基金などの自主的な取り組みを並行して進め、財務基盤を強固にしていきます。

教育・研究の推進、人材の育成、地域連携、地域医療の維持推進、国際貢献等は大学一丸となって推進する必要があります。そのために未来ビジョンを提示し、具体的な中期計画を実行するために学長としてのリーダーシップを発揮する所存です。

私は宮崎大学長として、上記の任務を誠実に、全力を注いで全うする覚悟です。

以上、所信を表明します。

- (注) 1. 用紙は、日本産業規格A4縦型とする。
2. 所信欄に、宮崎大学の将来構想、教育・研究・社会貢献・国際貢献、大学運営に関し、2000字程度で作成してください。
3. この所信表明書は、選考過程において公表されます。